

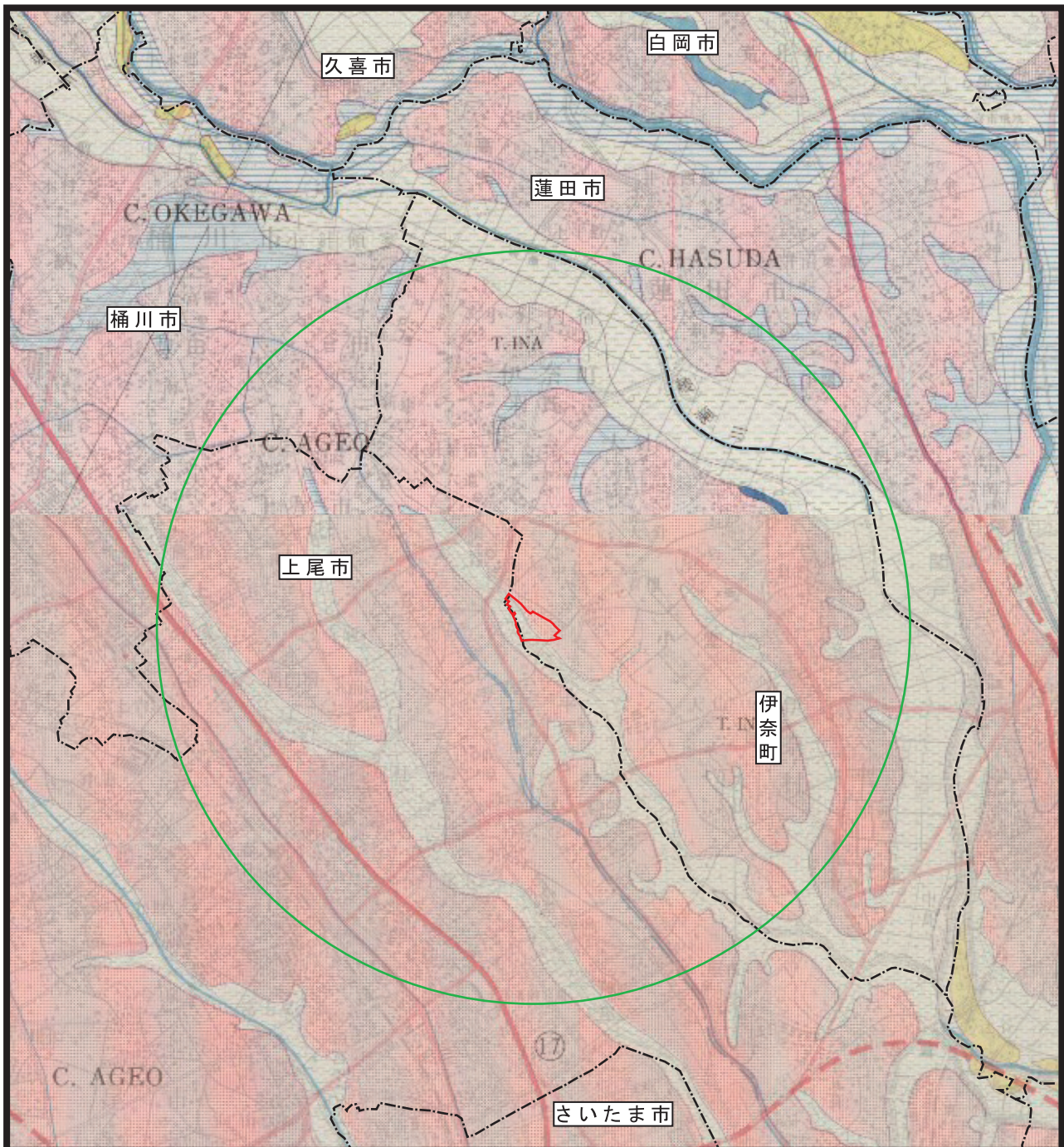
2.4 地形及び地質の状況

1) 地形

対象事業実施区域周辺の地形分類は、図3.2.4-1に示すとおりであり、対象事業実施区域周辺は谷底平野、または火山灰台地となっている。

2) 地質

対象事業実施区域周辺の表層地質は図3.2.4-2に示すとおりであり、未固結堆積物の砂泥堆積物及び火山性岩石のロームからなっている。



凡例



: 対象事業実施区域

----- : 市町界



火山灰台地（上位）

火山灰台地（下位）

谷底平野（河道・氾濫原）

自然堤防

台地上の谷（谷地田）

旧流路跡（旧河道）



崖

1・2級河川

1・2級河川流域界

国道・県道

地形界

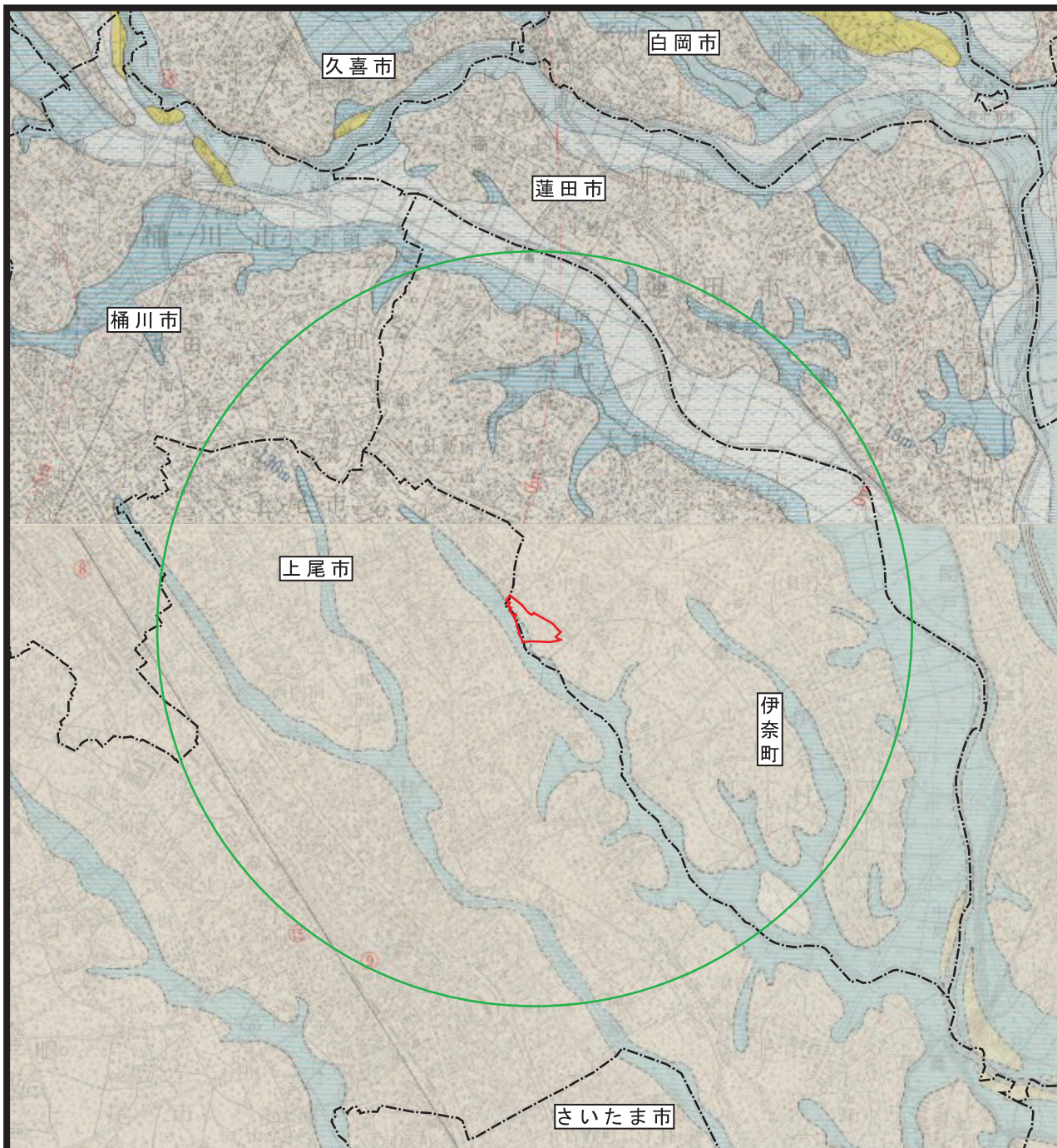


S = 1:50,000



図3.2.4-1 地形分類図

出典：「地形分類図（鴻巣）」（昭和50年3月発行 埼玉県）
 「地形分類図（大宮）」（昭和48年3月発行 埼玉県）



凡例



：対象事業実施区域 - - - - - : 市町界

未固結堆積物

- 砂泥堆積物(河道・氾濫原)
- 砂泥堆積物(流路跡)
- 砂質堆積物(自然堤防)
- 砂丘堆積物(旧流路跡)
- 泥質堆積物(後背湿地の腐植土)
- 泥質堆積物(後背湿地)
- 泥質堆積物(解折谷地田、後背湿地：後背湿地の腐植土を伴わない二次堆積ローム)
- 泥質堆積物(解折谷地田、後背湿地：後背湿地の腐植土を持つ二次堆積ローム)
- 泥質堆積物(谷地田の腐植土)

半固結-固結堆積物

- シルト砂礫の互層(東京層)
- 泥シルト砂の互層(基底礫を含む)(埼玉層)
- シルト砂礫の互層(古利根層)
- 火山性岩石(火山砕屑物)
- ローム



S = 1:50,000



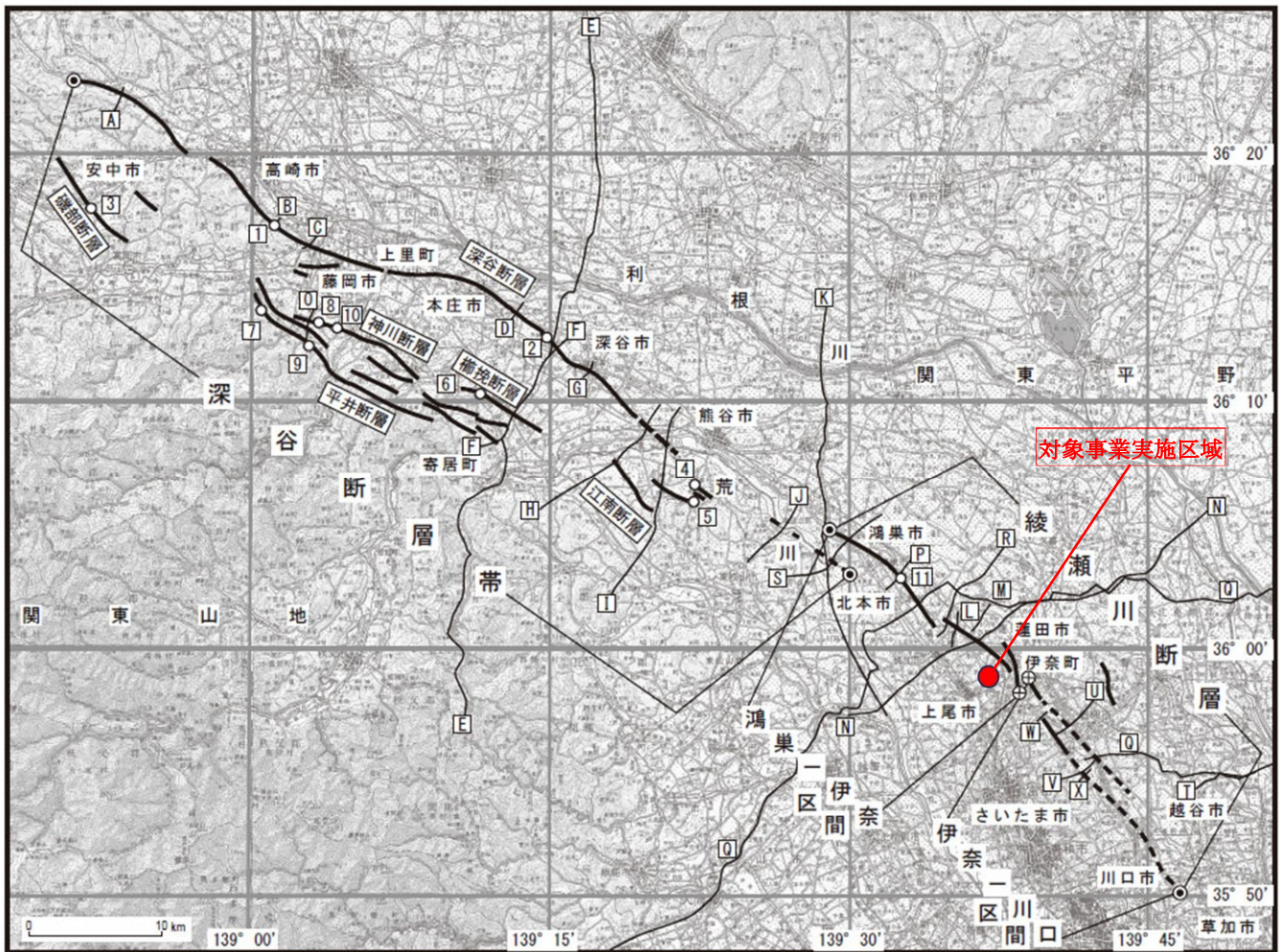
図3.2.4-2 表層地質図

出典：「表層地質図(鴻巣)」(昭和50年3月発行 埼玉県)
「表層地質図(大宮)」(昭和48年3月発行 埼玉県)

3) 活断層等

対象事業実施区域周辺の活断層は図 3.2.4-3 に示すとおりであり、綾瀬川断層が存在する。綾瀬川断層の概要は、表 3.2.4-1 に示すとおりである。

なお、「主要活断層帯の長期評価の概要（算定基準日 令和 7 年（2025 年）1 月 1 日）〈都道府県別〉」（地震調査研究推進本部事務局）によると、30 年以内の地震発生確率は鴻巣-伊奈区間では「ほぼ 0%」となっているが、伊奈-川口区間では「不明」となっている。



出典：地震調査研究推進本部事務局（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）HP（都道府県ごとの地震活動）

図 3.2.4-3 活断層の位置

表 3.2.4-1 綾瀬川断層の概要

概 要	将来の活動
<p>綾瀬川断層は、埼玉県鴻巣市から北本市、桶川市、伊奈町、上尾市、蓮田市、春日部市、さいたま市、越谷市などを経て川口市に至る断層である。長さは約 38 km の可能性があり、概ね北西-南東方向に延びている。本断層は、伊奈町付近を境に鴻巣-伊奈区間と伊奈-川口区間に分けられる。鴻巣-伊奈区間は、長さ約 19km、南西側が北東側に対して相対的に隆起する逆断層と推定され、伊奈-川口区間は、長さ約 19 km の可能性がある。</p>	<p>綾瀬川断層では、鴻巣-伊奈区間、伊奈-川口区間でそれぞれ M7.0 程度の地震が発生する可能性があり、両区間が同時に活動した場合は、M7.5 程度の地震が発生する可能性がある。また、その際には鴻巣-川口区間では、断層の南西側が北東側に対して相対的に 3~4m 程度高まる段差やたわみが生じる可能性がある。</p>

出典：地震調査研究推進本部事務局（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）HP（都道府県ごとの地震活動）

2.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 重要な動物種及び生息地の状況

(1) 重要な動物種の選定根拠等

埼玉県内における動物種について、表 3.2.5-1 に示す文献資料に基づき作成した。また、文献資料で確認された種を対象に表 3.2.5-2 に示す基準に該当する種を重要種として整理した。

表 3.2.5-1 文献資料一覧

記号	文献名
a	埼玉県レッドデータブック動物編 2018 (第 4 版) (埼玉県、2018 年)
b	第 2 回～第 6 回自然環境保全基礎調査 (環境省、1978 年～2005 年)
c	上尾市植物動物調査報告書 (上尾市、平成 3 年 3 月)
d	伊奈町史資料調査報告書 第十四集 伊奈の野鳥 (伊奈町史編集室)

表 3.2.5-2(1/2) 重要種選定基準

No.	法令	選定根拠
①	「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別天然記念物 (特天) ・国指定天然記念物 (国天)
②	「埼玉県文化財保護条例」 (昭和 30 年埼玉県条例 46 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・県指定天然記念物 (県天)
③	「上尾市文化財保護条例」 (平成 18 年 3 月 29 日) 「伊奈町文化財保護条例」 (昭和 38 年 10 月 1 日 条例第 21 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町指定天然記念物 (市天)
④	「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に 関する法律 (種の保存法)」 (平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内希少野生動植物種 (国内) ・国際希少野生動植物種 (国際) ・特定第一種国内希少野生動植物種 (第一) ・特定第二種国内希少野生動植物種 (第二) ・緊急指定種 (緊急)
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に 関する条例」 (平成 12 年 3 月 24 日 条例第十一号)	<ul style="list-style-type: none"> ・希少野生動植物 (指定)

表 3.2.5-2(2/2) 重要種選定基準（文献による指定種）

No.	文献等	選定根拠
⑥	環境省レッドリスト2020	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I 類 (CR+EN) ・絶滅危惧 I A 類 (CR) ・絶滅危惧 I B 類 (EN) ・絶滅危惧 II 類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・情報不足 (DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)
⑦	埼玉県レッドデータブック動物編 2018 の地帯区分「全県」の指定種	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I 類 (CR+EN) ・絶滅危惧 IA 類 (CR) ・絶滅危惧 IB 類 (EN) ・絶滅危惧 II 類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの (NT1)
⑧	埼玉県レッドデータブック動物編 2018 の地帯区分「大宮台地」の指定種	<ul style="list-style-type: none"> ・生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの (NT2) ・情報不足 (DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) ・地帯別危惧 (RT)

注：⑧において上尾市及び伊奈町は「大宮台地」に位置していることから、「大宮台地」に属している動物の重要選定基準を記載している。

出典：「環境省レッドリスト2020」（令和7年12月閲覧、環境省）

「埼玉県レッドデータブック動物編2018（第4版）」（令和7年12月閲覧、埼玉県ホームページ）

(2) 哺乳類

埼玉県内における重要な動物種（哺乳類）は、表 3.2.5-3 に示すとおり、24 種が記録されている。

表 3.2.5-3 重要な動物種の状況（哺乳類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	アズミトガリネズミ						NT	DD		a	
2	カワネズミ							NT1		a	
3	ミズラモグラ						NT	NT1		a	
4	コキクガシラコウモリ							NT1		a	
5	キクガシラコウモリ							NT1		a	
6	ヒメホオヒゲコウモリ							NT1		a	
7	カグヤコウモリ							EN		a	
8	モリアブラコウモリ						VU	EN		a	
9	ヤマコウモリ						VU	VU		a	
10	クビワコウモリ						VU	EN		a	
11	チチブコウモリ							EN		a	
12	ウサギコウモリ							NT1		a	
13	ユビナガコウモリ							EX		a	
14	コテングコウモリ							NT1		a	
15	テングコウモリ							NT1		a	
16	オヒキコウモリ						VU	DD		a	
17	ホンドモモンガ							NT1		a	
18	ムササビ							NT1		a	
19	ヤマネ	国天						NT1		a	
20	ハツカネズミ						CR+EN			b	○
21	ツキノワグマ				国際			NT2		a	
22	オオカミ				国際			EX		a	
23	オコジョ							NT1		a	
24	カワウソ	特天			国際			EX		a	
合計	24 種	2 種	0 種	0 種	3 種	0 種	7 種	23 種		—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度」（令和6年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(3) 鳥類

埼玉県内における重要な動物種（鳥類）は、表 3.2.5-4 に示すとおり、121 種が記録されている。

表 3.2.5-4(1/3) 重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注3
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	ウズラ						VU	越:CR 繁:CR	越:CR 繁:CR	a, b, c, d	
2	ヤマドリ							越:VU 繁:VU		a	○
3	ヒシクイ	国天					亜種ヒシクイ:VU 亜種オオヒシクイ:NT	越:CR	越:EX	a	
4	マガン	国天					NT	越:CR	越:EX	a, d	
5	カリガネ						EN	越:EX		a	
6	シジュウカラガン				国内		CR	越:EX		a	
7	コハクチョウ							越:NT1	越:NT1	a	
8	オオハクチョウ							越:CR	越:CR	a, c	
9	オシドリ						DD	越:VU 繁:EN	越:EN	a, c	
10	トモエガモ						VU	越:VU	越:VU	a, b, c	
11	アカハジロ						DD			d	
12	アカエリカイツブリ							越:VU	越:VU	a	
13	カンムリカイツブリ							越:VU	越:VU	a	
14	ミミカイツブリ							越:DD	越:DD	a	
15	ハジロカイツブリ							越:NT1	越:NT1	a	
16	シラコバト						EN	越:EN 繁:EN	越:EN 繁:EN	a, b, d	■
17	アオバト							繁:RT		a, c	
18	コウノトリ				国内		CR	繁:EX	繁:EX	a	■
19	ヨシゴイ						NT	繁:VU	繁:VU	a, b, c, d	
20	オオヨシゴイ				国内		CR	繁:EX		a	
21	ミゾゴイ						VU	繁:EN		a, b	
22	ササゴイ							繁:EX	繁:CR	a, b, c	
23	アマサギ							繁:LP	繁:LP	a, b, c, d	
24	チュウサギ						NT	繁:VU	繁:NT2	a, b, c, d	
25	コサギ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d	
26	トキ	特天			国内		CR	繁:EX		a	■
27	クイナ							越:VU	越:VU	a, b, c, d	
28	ヒクイナ						NT	繁:CR	繁:CR	a, b, c, d	
29	オオバン							繁:NT1	繁:NT1	a	
30	バン							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d	
31	ジュウイチ							繁:LP		a, d	
32	ホトトギス							繁:RT		a, c, d	
33	ツツドリ							繁:LP		a, c, d	
34	カッコウ							繁:NT2		a, b, c, d	
35	ヨタカ						NT	繁:VU	繁:EX	a, c	
36	ハリオアマツバメ							繁:DD		a	
37	ヒメアマツバメ							繁:LP 越:VU		a	
38	タゲリ							越:NT2	越:NT2	a, b, c, d	
39	ケリ						DD	越:EN 繁:NT1	越:EN 繁:NT1	a, b, c, d	
40	イカルチドリ							繁:NT1		a, b, c, d	
41	シロチドリ						VU	繁:LP		a, b, c	
42	ヤマシギ							越:VU	越:VU	a, b, d	

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 選定根拠⑦⑧の「繁」は繁殖鳥、「越」は越冬鳥を示す。

3) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-4(2/3) 重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注3
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
43	オオジシギ						NT	繁:CR		a, c, d	
44	タシギ							越:RT	越:NT2	a, b, c, d	
45	ツルシギ						VU			c	
46	タカブシギ						VU			b, c, d	
47	イソシギ							繁:VU	繁:VU	a, b, c, d	
48	ハマシギ						NT			c	
49	タマシギ						VU	越:CR 繁:CR	越:CR 繁:CR	a, b, c, d	
50	ツバメチドリ						VU	繁:CR		a	
51	コアジサシ						VU	繁:CR	繁:CR	a, b, d	
52	アジサシ							繁:DD		a	
53	ミサゴ						NT			d	
54	ハチクマ						NT	繁:EN		a, d	
55	トビ							繁:DD	繁:DD	a, b, c, d	
56	チュウヒ				国内		EN	越:EN	越:EN	a, b	
57	ハイイロチュウヒ							越:EN	越:EN	a, d	
58	ツミ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d	
59	ハイタカ						NT	越:NT2 繁:DD	越:VU	a, c, d	
60	オオタカ						NT	越:VU 繁:VU	越:NT2 繁:VU	a, c, d	
61	サシバ						VU	繁:CR	繁:EX	a, b, c, d	
62	ノスリ							越:NT2 繁:NT2	越:NT2 繁:DD	a, c, d	
63	イヌワシ				国内		EN	繁:DD		a	
64	クマタカ				国内		EN	繁:EN		a	
65	オオコノハズク							越:DD 繁:DD	越:DD 繁:EX	a, b, c, d	
66	コノハズク							繁:VU		a, d	
67	フクロウ							越:NT2 繁:RT	越:VU 繁:EN	a, b, c, d	
68	アオバズク							繁:NT2	繁:EN	a, b, c, d	
69	トラフズク							越:EN	越:EN	a, c	
70	コミミズク							越:VU	越:VU	a, b, c	
71	アカショウビン							繁:CR		a	
72	カワセミ							繁:RT	繁:LP	a, b, c, d	
73	ヤマセミ							繁:NT2		a	
74	ブッポウソウ						EN	繁:CR		a	
75	アリスイ							越:NT2	越:NT2	a, b, c, d	
76	アオゲラ							繁:RT	越:VU	a, c, d	
77	オオアオゲラ							繁:NT1		a	
78	チョウゲンボウ							繁:NT2	繁:NT2	a, b, c, d	
79	ハヤブサ				国内		VU	越:VU	越:VU	a, b, c, d	
80	サンショウクイ						VU	繁:EN	繁:EX	a, c	
81	サンコウチョウ							繁:EN	繁:EX	a, b, c, d	
82	チゴモズ						CR	繁:CR	繁:EX	a, b	
83	アカモズ				国内		EN	繁:CR	繁:EX	a	
84	ホシガラス							繁:NT2		a	
85	コガラ							繁:NT2		a, c, d	
86	ヤマガラ							繁:RT		a, b, c, d	
87	ヒガラ							繁:RT		a, b, c, d	
88	コシアカツバメ							繁:DD		a, c	

- 注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。
 2) 選定根拠⑦⑧の「繁」は繁殖鳥、「越」は越冬鳥を示す。
 3) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-4(3/3) 重要な動物種の状況（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注3
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
89	ウグイス							繁:RT		a, b, c, d	
90	ヤブサメ							繁:NT2		a	
91	メボソムシクイ							繁:NT2		a, c, d	
92	エゾムクシイ							繁:NT2		a, c, d	
93	センダイムシクイ							繁:NT2		a, c, d	
94	オオセッカ				国内		EN	越:DD	越:DD	a, b	
95	オオヨシキリ							繁:NT2	繁:NT2	a	
96	コヨシキリ							繁:EN	繁:EN	a, b, c, d	
97	ゴジュウカラ							繁:NT2		a	
98	キバシリ							繁:RT		a	
99	コムドリ							繁:DD		a, b, c, d	
100	トラツグミ							繁:NT2	繁:CR	a, b, c, d	
101	クロツグミ							繁:NT2		a	
102	アカハラ							繁:NT2		a, b, c, d	
103	コマドリ							繁:NT1		a	
104	コルリ							繁:NT1		a, d	
105	ルリビタキ							越:RT	越:NT2	a, c, d	
106	サメビタキ							繁:NT2		a	
107	コサメビタキ							繁:EN	繁:EX	a, c, d	
108	キビタキ							繁:RT		a, c, d	
109	オオルリ							繁:RT		a, c, d	
110	イワヒバリ							繁:NT1		a	
111	ニュウナイスズメ							越:NT1	越:NT1	a	
112	ハギマシコ							越:VU		a	
113	ベニマシコ							越:RT	越:NT1	a, c, d	
114	コイカル							繁:DD	繁:DD	a	
115	ホオジロ							繁:RT	繁:NT2	a, b, c, d	
116	ホオアカ							繁:CR	繁:EX	a, c, d	
117	ミヤマホオジロ							越:NT1	越:NT1	a, c, d	
118	シマアオジ				国内		CR			c, d	
119	アオジ							繁:DD		a, b, c, d	
120	クロジ							越:RT	越:NT2	a	
121	コジュリシ						VU	越:VU	越:VU	a, d	
合計	121 種	3 種	0 種	0 種	11 種	0 種	42 種	115 種	66 種	—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 選定根拠⑦⑧の「繁」は繁殖鳥、「越」は越冬鳥を示す。

3) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(4) 両生類・爬虫類

埼玉県内における重要な動物種（両生類・爬虫類）は、表 3.2.5-5 に示すとおり、22 種が記録されている。

表 3.2.5-5 重要な動物種の状況（両生類・爬虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	トウキョウサンショウウオ				第二		VU	EN		a	
2	アカハライモリ					指定	NT	CR	EX	a	
3	イモリ					指定				c	
4	アズマヒキガエル							NT1	NT1	a	
5	ニホンアカガエル							VU	EN	a, b, c	
6	ヤマアカガエル							NT2		a	
7	トウキョウダルマガエル						NT	NT1	VU	a, b, c	
8	ツチガエル							EN	CR	a, c	
9	シュレーゲルアオガエル							NT2	VU	a, c	
10	カジカガエル							NT1		a	
11	ニホンイシガメ						NT	DD	DD	a	
12	ニホンスッポン						DD	DD	DD	a	
13	ヒガシニホントカゲ							NT2	NT1	a	
14	ニホンカナヘビ							RT	NT2	a	
15	タカチホヘビ							VU	CR	a	
16	シマヘビ							VU	VU	a, c	
17	アオダイショウ							NT2	NT1	a, b, c	
18	ジムグリ							NT1	EN	a, c	
19	シロマダラ							VU	EN	a, c	
20	ヒバカリ							NT1	VU	a, b, c	
21	ヤマカガシ							NT1	VU	a, b, c	
22	ニホンマムシ							NT2	EN	a	
合計	22 種	0 種	0 種	0 種	1 種	2 種	5 種	21 種	18 種	—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(5) 昆虫類

埼玉県内における重要な動物種（昆虫類）は、表 3.2.5-6 に示すとおり、254 種が記録されている。

表 3.2.5-6(1/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	トウヨウモンカゲロウ							VU		a	
2	ミツトグヒメシロカゲロウ							EX		a	
3	ヒトリガカゲロウ						NT	DD		a	
4	コバネアオイトトンボ						EN	EX	EX	a, b	
5	キイトトンボ							NT2	EN	a, b	
6	ベニイトトンボ						NT	EN	EN	a, b	○
7	ヒヌマイトトンボ						EN	CR		a	
8	モートンイトトンボ						NT	EN	EX	a	
9	オオセスジイトトンボ						EN	CR		a, b	
10	ムスジイトトンボ							DD		a, b	
11	オオモノサシトンボ						EN	EN	EX	a, b	
12	アオハダトンボ						NT	VU	EX	a	
13	ネアカヨシヤンマ						NT	NT2	NT2	a, b	
14	アオヤンマ						NT	VU	VU	a, b	
15	マダラヤンマ						NT	DD		a	
16	マルタンヤンマ							NT2	NT2	a, b	
17	サラサヤンマ							NT2	NT2	a	
18	キイロサナエ						NT	VU	VU	a, b	
19	アオサナエ							NT1		a	
20	ホンサナエ							VU	EN	a	
21	ナゴヤサナエ						VU	VU	VU	a, b, c	
22	メガネサナエ						VU	EX	EX	a, b	○
23	トラフトンボ							VU	EX	a	
24	キイロヤマトンボ						NT	CR	EX	a, b, c	
25	エゾトンボ							CR	EX	a	
26	ベッコウトンボ				国内		CR	EX	EX	a	
27	ヨツボシトンボ							VU	VU	a	
28	ハラビロトンボ							NT2	NT2	a, b, c	
29	ヒメアカネ							VU	VU	a, c	
30	オオキトンボ						EN	CR	EX	a	
31	ウスバカマキリ						DD	EN		a, c	
32	クギヌキハサミムシ							NT2	NT2	a	
33	オナシカワゲラ							VU	VU	a	
34	アサカワヒメカワゲラ							NT2	NT2	a	
35	ヤマトヒメカワゲラ							VU	VU	a	
36	クツムシ							EN		a	
37	エゾツユムシ							NT2		a	
38	オナガササキリ							RT		a	
39	イズササキリ						DD	EN		a	
40	ヒガシキリギリス							NT1		a	
41	オオクサキリ							CR		a	
42	ササキリモドキ							NT1	DD	a	
43	ヒメツユムシ							NT1	DD	a	
44	カスミササキリ							EN		a	
45	ヒサゴクサキリ							DD	DD	a	
46	カヤキリ							EN		a	
47	ヒメクサキリ							NT1	VU	a	
48	スズムシ							RT		a	

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-6(2/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
49	マツムシ							VU		a	
50	オオオカメコオロギ							EN		a	
51	クマコオロギ							NT1		a	
52	エゾエンマコオロギ							EN		a	
53	コガタコオロギ							EN	EN	a	
54	エゾスズ							RT		a	
55	カワラバッタ							EN		a	
56	クルマバッタ							NT2		a	
57	ヒナバッタ							NT1		a	
58	ショウリョウバッタモドキ							NT2		a	
59	ナキイナゴ							NT1		a	
60	ツマグロバッタ							VU		a	
61	ハネナガイナゴ							NT1		a	
62	ヤマトフキバッタ							RT		a	
63	セグロイナゴ							VU		a	
64	ニホントビバナフシ							NT1		a	
65	クロスジオウンカ							NT1	NH1	a	
66	アヤヘリハネナガウンカ							NT1		a	
67	アリヅカウンカ							NT1		a	
68	ハルゼミ							NT1	VU	a, b	
69	フクロクヨコバイ						NT	CR		a	
70	トゲサシガメ							NT1	NH1	a	
71	キイロサシガメ							VU	VU	a	
72	ベニモンマキバサシガメ							NT2	VU	a	
73	ヒメトゲヘリカメムシ							NT1		a	
74	イネカメムシ							CR	CR	a	
75	イネクロカメムシ							NT2	NT2	a	
76	オオアメンボ							NT2	NT1	a, b	
77	エサキアメンボ						NT	NT2	NT2	a, b	
78	ババアメンボ						NT	NT1	NT1	a, b	
79	ムモンミズカメムシ							NT1	NT1	a	
80	マダラケシカタビロアメンボ							NT1	NT1	a	
81	ミゾナシミズムシ						NT	VU	VU	a	
82	ミヤケミズムシ						NT	CR	CR	a	
83	コオイムシ						NT	CR		a, b	
84	タガメ				第二		VU	CR	EX	a	
85	コバンムシ				第二		EN	CR		a, b	
86	ラクダムシ							VU	VU	a	
87	プライヤーヒロバカゲロウ							NH2	NH2	a	
88	ヒメカマキリモドキ							NH2	NH2	a	
89	キバネツノトンボ							CR		a	
90	ヤマトガガンボモドキ							VU	VU	a	
91	ホシガガンボモドキ							DD	DD	DD	a
92	アシナガモモトスカシバ							VU	NT1	a	
93	ミヤマセセリ							NT1	EX	a	
94	ホソバセセリ							NT2	EX	a	
95	ギンイチモンジセセリ						NT	NT2	NT2	a, b, c	
96	オオチャバネセセリ							NT2	NT2	a, b, c	
97	コチャバネセセリ							NT2	NT2	a, b, c	
98	ウラゴマダラシジミ							VU	EX	a, b, c	
99	コツバメ							NT2	EX	a, c	
100	オオミドリシジミ							NT1	CR	a, b, c	

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-6(3/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
101	ミドリシジミ							NT1	NT1	a, b, c	
102	クロシジミ						EN	EX	EX	a, b, c	
103	ミヤマシジミ						EN	CR		a	
104	ゴイシシジミ							NT2	NT2	a, b, c	
105	ヤマトシジミ						NT			b, c	
106	シルビアシジミ						EN	EX	EX	a, c	
107	ウラギンスジヒョウモン						VU	VU	EX	a	
108	オオウラギンスジヒョウモン							NT2	NT2	a, b, c	
109	メスグロヒョウモン							NT2	EX	a	
110	ウラギンヒョウモン							NT2	VU	a	
111	オオウラギンヒョウモン						CR	EX	EX	a	
112	アサマイチモンジ							NT2	CR	a, b, c	
113	ジャノメチョウ							NT2	EX	a, b, c	
114	クモガタヒョウモン							NT2	EX	a	
115	ミスジチョウ							NT2	EX	a, b, c	
116	ホシミスジ							NT1	CR	a	
117	ヒオドシチョウ							VU	VU	a, b, c	
118	オオムラサキ						NT	VU	EX	a	
119	ツマグロキチョウ						EN	EN	EX	a, c	
120	フチグロトゲエダシヤク							NT1	NT1	a	
121	イボタガ							RT	CR	a	
122	オナガミズアオ						NT	RT	LP	a	
123	エゾヨツメ							RT	EX	a	
124	ヤママユ							RT	NT1	a, b	
125	ガマヨトウ						VU	DD	DD	a	
126	コシロシタバ						NT			b	
127	カギモンハナオヘアツバ						NT	DD	DD	a	
128	ウスミモンキリガ						NT	NT1	NT1	a	
129	ミスジキリガ						NT	DD	DD	a	
130	ハスオビアツバ							NT1	NT1	a	
131	イチモジヒメヨトウ						VU	NT2	NT2	a	
132	マツムラヒメアブ							NT2	NT2	a	
133	タイワンハラボソツリアブ							NT2	NT2	a	
134	ヒサマツハチモドキハナアブ							NT2	NT2	a	
135	カワムラムモブトハナアブ							NT2		a	
136	コブアリノスアブ							NT2	NT2	a	
137	ハチモドキハナアブ							NT2	NT2	a	
138	シコクモモブトホソハナアブ							NT1	NT1	a	
139	スズキベッコウハナアブ							NT2	NT2	a	
140	オオハチモドキバエ							NT2		a	
141	フタスジヤチバエ							NT2	NT2	a	
142	カエルキンバエ						DD	NT2	NT2	a	
143	フルトネニクバエ							VU		a	
144	アオバネホソクビゴミムシ							NT1	EN	a	
145	ヒメホソクビゴミムシ							EN		a	
146	オオヨツボシゴミムシ							VU	CR	a	
147	ハマベミズギワゴミムシ							CR	EX	a	
148	アカガネオサムシ						VU	CR	CR	a	
149	セアカオサムシ						NT	NT1		a	
150	ヒトツメアオゴミムシ						NT	NT2	NT1	a	
151	オオサカアオゴミムシ						DD	EN	EN	a	
152	アオヘリアオゴミムシ						CR	EN	EX	a	

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-6(4/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
153	クビナガキベリアオゴミムシ						DD	EN	EN	a	
154	ツヤキベリアオゴミムシ						VU	EX	EX	a	
155	キバナガミズギワゴミムシ							EX	EX	a	
156	オサムシモドキ							EN	CR	a	
157	オオアオホソゴミムシ							EX	EX	a	
158	スナハラゴミムシ						VU	CR		a	
159	コハンミョウモドキ						EN	VU		a	
160	チビアオゴミムシ						EN	CR	CR	a	
161	チョウセンゴモクムシ						VU	VU		a	
162	クロモンヒラナガゴミムシ							VU	VU	a	
163	アリスアトキリゴミムシ						DD	NT2	NT1	a	
164	キノコゴミムシ							NH2	NH1	a	
165	キベリマルクビゴミムシ						EN	CR	EX	a	
166	フタモンマルクビゴミムシ						EN	CR	EX	a	
167	ハガクビナガゴミムシ						DD	EN	EN	a	
168	オオトックリゴミムシ						NT	VU	CR	a	
169	イグチケブカゴミムシ						NT	NT1	NT1	a	
170	クビナガヨツボシゴミムシ						DD	NT2	NT2	a	
171	オオヒラタトックリゴミムシ						CR	EX	EX	a	
172	カワラハンミョウ						EN	EX		a	
173	ホソハンミョウ						VU	NT1	VU	a, b	
174	クロズマメゲンゴロウ							VU	CR	a	
175	トダセスジゲンゴロウ						VU	EN	EN	a	
176	テラニシセスジゲンゴロウ							DD	DD	a	
177	ゲンゴロウ				第二		VU	CR	EX	a	○
178	マルガタゲンゴロウ				第二		VU	CR	EX	a	
179	シマゲンゴロウ						NT	NT1	VU	a	
180	ホンシュウオオオイチモンジシマゲンゴロウ							VU	VU	a, b	
181	マルケシゲンゴロウ						NT	VU		a	
182	キベリクロヒメゲンゴロウ						NT	NT1	N	a, b	
183	ルイスツブゲンゴロウ						VU	VU	VU	a	
184	マルチビゲンゴロウ						NT	EN	EN	a	
185	オオミズスマシ						NT	CR	CR	a	
186	コミズスマシ						EN	DD	DD	a	
187	ミズスマシ						VU	EX		a	
188	コオナガミズスマシ						VU	NT1		a	
189	オナガミズスマシ							VU	EN	a	
190	クビボソコガシラミズムシ						DD	CR		a	
191	ヒメコガシラミズムシ							DD	DD	a	
192	マダラコガシラミズムシ						VU	VU	CR	a	
193	カワラゴミムシ							EN	CR	a	
194	セスジガムシ						EN	EN	EN	a	
195	ガムシ						NT	CR		a	○
196	シジミガムシ						EN	DD	DD	a	
197	ルリエンマムシ							NT2	NT2	a	
198	カントウコチビシデムシ							NT1	NT1	a	
199	ヤマトモンシデムシ						NT	NT1	VU	a	
200	ヤチハネカクシ						DD	NT1		a	
201	ヌレチハネカクシ						DD	NT1		a	
202	ベンギンダイコクアリツカムシ							NT1		a	
203	ヤツメアリツカムシ							NT1		a	

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-6(5/5) 重要な動物種の状況（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準								文献記号	国内外来種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
204	ヒメキイロマグソコガネ						NT	NT1		a	
205	クロモンマグソコガネ						NT	NT1		a	
206	オオキイロコガネ							NT1	NT1	a	
207	トラハナムグリ							NT1		a	
208	ケスジドロムシ						VU	EX		a	
209	ウバタマムシ							NT2	VU	a	
210	アオマダラタマムシ							NT2	NT2	a, b	
211	キンヘリタマムシ							DD	DD	a	
212	ゲンジボタル							VU	EX	a, b	○
213	ヘイケボタル							NT1	VU	a, b, c	○
214	ヒメボタル							VU		a	
215	イシハラジョウカイモドキ							VU	VU	a	
216	オオヒゲボソケシキスイ							NT1		a	
217	ムモンチャイロテントウ							NT2	NT1	a	
218	ムナグロチャイロテントウ							NT2		a	
219	ナカイケミヒメテントウ							NT2		a	
220	トウキョウムネビロオオキノコ							NT1	NT1	a	
221	オオキマダラケシキスイ							NT2	DD	a	
222	Platamartus jakowlewi							NT1		a	
223	ワタラセミズギワアリモドキ							EN		a	
224	シロスジカミキリ							NT2	VU	a	
225	アカアシオオアカミキリ							NT2	VU	a	
226	ベーツヒラタカミキリ							VU	VU	a	
227	ベニバハナカミキリ							NT2	NT2	a	
228	アオカミキリ							NT1	VU	a	
229	ヨツボシカミキリ						EN	EN	EN	a	
230	トラフカミキリ							NT2	VU	a	
231	オオルリハムシ						NT	VU	VU	a	
232	フトネクイハムシ							EN		a	
233	ガガブタネクイハムシ							CR		a	
234	イネネクイハムシ							NT2	NT2	a	
235	タグチホソヒラタハムシ							VU	VU	a	
236	オオケブカチョッキリ							NT1	VU	a	
237	ババスゲヒメゾウムシ							NT1	NT1	a	
238	スゲノハラジロヒメゾウムシ							NT1		a	
239	オナガカツオゾウムシ							VU		a	
240	クロイネゾウムシ							NT2		a	
241	ムサシトゲセイボウ						NT	CR	CR	a	
242	ヤマトアシナガバチ						DD	EN	EN	a	
243	オオハラナガツチバチ							NT2		a	
244	ニッポントゲアナバチ							VU		a	
245	ニッポンハヤバチ							NT2	NT2	a	
246	フクイジガバチモドキ						DD	EN		a	
247	コウノスジガバチモドキ							CR		a	
248	ナンブジガバチモドキ							NT2		a	
249	ムネアカツヤアナバチ							NT1		a	
250	ニッポンハナダカバチ						VU	CR		a	
251	ナンブツヤバチモドキ							CR		a	
252	キスジツチスガリ							NT1		a	
253	シロスジケアシハナバチ							NT1		a	
254	キイロコガネヤドリバエ							NT2	NT2	a	
合計	254種	0種	0種	0種	5種	0種	96種	252種	167種	—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(6) 魚類

埼玉県内における重要な動物種（魚類）は、表3.2.5-7に示すとおり、23種が記録されている。

表 3.2.5-7 重要な動物種の状況（魚類）

No.	種名	重要種選定基準								文献 記号	国内 外来 種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	スナヤツメ南方種						VU	CR		a	
2	スナヤツメ北方種						VU	CR		a	
3	ニホンウナギ						EN	NT2		a	
4	ゲンゴロウブナ						EN			b, c	●
5	キンブナ						VU			b, c	
6	ギンブナ						VU	VU		a, b, c	
7	ミヤコタナゴ	国天			国内		CR	EW		a	
8	ヤリタナゴ						NT	CR		a, c	
9	タナゴ						EN	EX		a	
10	ゼニタナゴ						CR	EX		a	
11	ワタカ						CR			b, c	●
12	ハス						VU			b, c	●
13	ツチフキ						EN			c	●
14	スゴモロコ						VU			b, c	●
15	ドジョウ						NT			b, c	
16	ホトケドジョウ						EN	CR		a	
17	ギバチ						VU			c	
18	ワカサギ							NT1		a	○
19	ニッコウイワナ						DD	VU		a	○
20	サクラマス（ヤマメ）						NT	VU		a	○
21	ムサシトミヨ		県天			指定	CR	CR		a	
22	ミナミメダカ						VU	NT2		a	○
23	ジュズカケハゼ						NT			c	
合計	23種	1種	1種	0種	1種	1種	22種	14種		—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(7) その他の動物（甲殻類、陸・淡水産貝類等）

埼玉県内における重要な動物種（甲殻類、陸・淡水産貝類等）は、表 3.2.5-8 に示すとおり、23 種が記録されている。

表 3.2.5-8 重要な動物種の状況(甲殻類、陸・淡水産貝類等)

No.	種名	重要種選定基準								文献 記号	国内 外来 種 注2
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
1	マルタニシ						VU	VU	VU	a, b, c	
2	オオタニシ						NT			c	
3	コシダカヒメモノアラガイ						DD			b	
4	モノアラガイ						NT	NT2	NT2	a, b	
5	ナガオカモノアラガイ						NT	VU		a, b	
6	カワネジガイ						CR	EX		a, b	
7	カワコザラガイ						CR	VU	VU	a, b	
8	ミズコハクガイ						VU	LP		a, b	
9	ヒラマキミズマイマイ						DD	NT2		a	
10	トウキョウヒラマキガイ						DD	LP		a, b	
11	ヒラマキガイモドキ						NT	LP		a, b	
12	カラスガイ						EN	VU		a	
13	イシガイ							NT2		a, b	
14	マツカサガイ						NT	EN		a	
15	トブガイ							NT2	NT2	a, b, c	
16	マシジミ						VU			b	
17	ドブシジミ							NT2	NT2	a, b	
18	ヌカエビ							NT2		a, c	
19	サワガニ							NT2		a	
20	カドコオオベソマイマイ						NT			b	
21	トウキョウコオオベソマイマイ						NT			b	
22	ナギコギセル							LP	LP	a	
23	ヒメオオタキキビ						DD			b	
合計	23 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	17 種	17 種	6 種	—	—

注：1) 種名の配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度」（令和7年 国土交通省）に従った。
2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

2) 植生

(1) 現存植生

対象事業実施区域周辺の現存植生図を図. 3. 2. 5-1 に示す。

対象事業実施区域周辺は耕作地植生が広がり、対象事業実施区域の北側、東側については広く全体的に耕作地植生となっている。対象事業実施区域の南西側の耕作地植生の奥には市街地が広がっている。樹林は少なく、緑の住宅地やアカマツ群落、工場地帯、クヌギーコナラ群集、ケヤキーシラカシ群落等がパッチ上に存在している。

対象事業実施区域は、果樹園、畑雑草群落及び水田雑草群落に区分されている。

(2) 植生自然度及び希少な群落

植生自然度の区分は表 3. 2. 5-9 に示すとおりである。

植生自然度を見ると、対象事業実施区域の周辺の一部に植生自然度7のクヌギーコナラ群集が確認されているが、対象事業実施区域は路傍・空地雑草群落、畑地雑草群落及び水田雑草群落に区分され、植生自然度は2～4に分類される。

表 3. 2. 5-9 植生自然度区分

植生自然度	区分内容	区分基準
10	自然草原	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	自然林	エゾマツトドマツ群集、ブナ群落等、自然植生のうち低木林、高木林の植物社会を形成する地区
8	二次林 (自然林に近いもの)	ブナーミズナラ群落、シイ・カシ二次林等、代償植生であっても特に自然植生に近い地区
7	二次林	クリーミズナラ群集、コナラ群落等、繰り返し伐採されている一般に二次林と呼ばれている代償植生地区
6	植林地	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地、アカメガシワ等の低木林
5	二次草原 (背の高い草原)	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原、伝統的な管理を受けて持続している構成種の多い草原
4	二次草原 (背の低い草原)	シバ群落等の背丈の低い草原、伐採直後の草原、路傍・空地雑草群落、放棄畑雑草群落
3	外来種植林農耕地 (樹園地)	竹林、外来種の植林・二次林・低木林、果樹園、茶畑、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
2	外来種草原農耕地 (水田・畑)	外来種の草原、畑、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地等	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

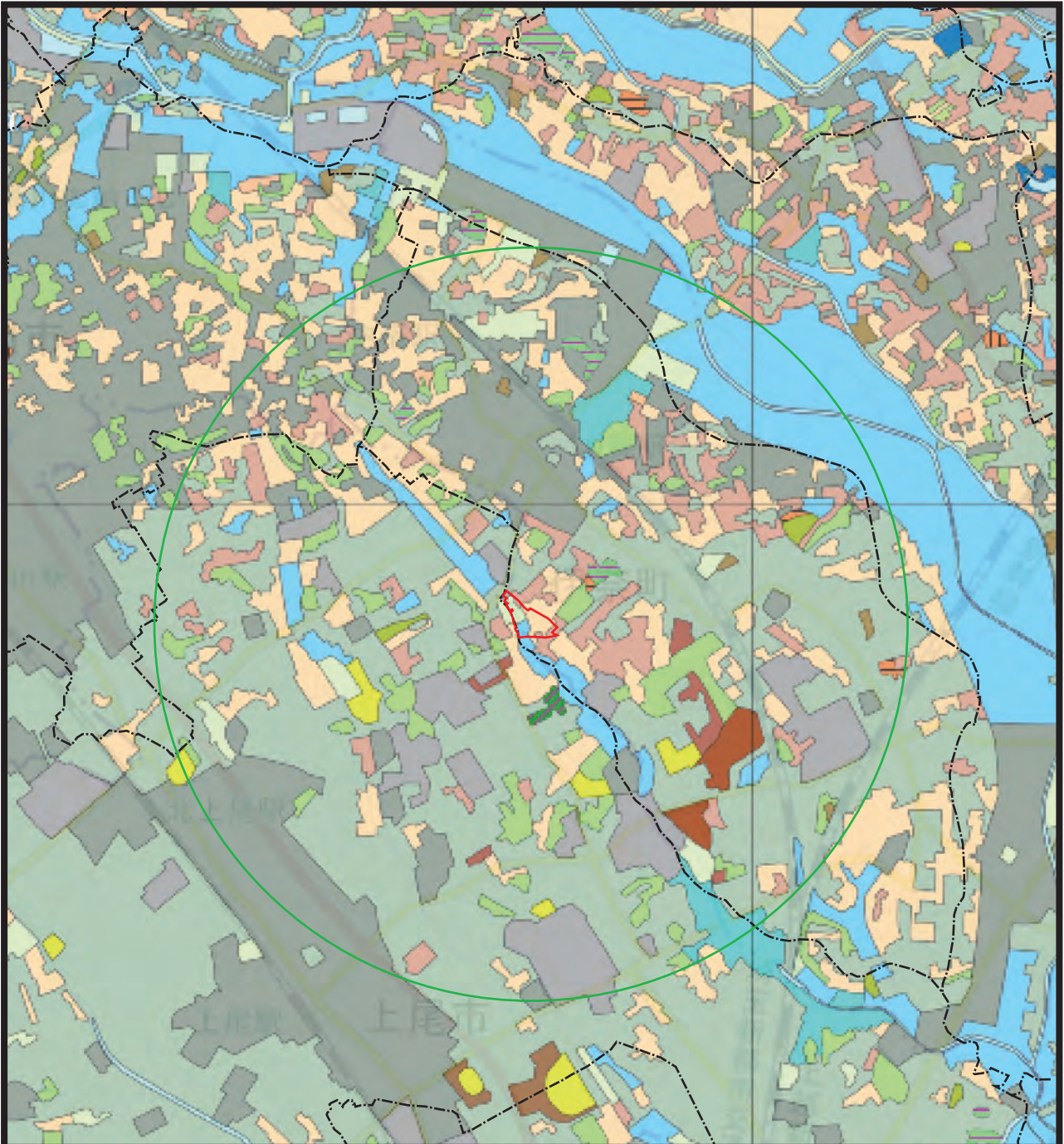
出典：「1/2.5 万植生図の新たな植生自然度について」（平成 28 年 3 月 環境省）

(3) 特定植物群落

「埼玉県レッドデータブック植物編 2024（第 5 版）」（埼玉県 令和 7 年 3 月）では、対象事業実施区域周辺に特定植物群落に該当する群落は確認されなかった。

(4) 緑の量

対象事業実施区域は果樹園等であり、その周辺についても「緑の多い住宅地」が広がっている地域である。



凡例

: 対象事業実施区域

: 環境に影響を及ぼす地域
(中心から半径3km)

----- : 市町界

- | | |
|--------------|-----------|
| ケヤキ-シラカシ群落 | 路傍・空地雑草群落 |
| シラカシ屋敷林 | 放棄畑雑草群落 |
| クヌギ-コナラ群集 | 果樹園 |
| アカシデーイヌシデ群落 | 畑雑草群落 |
| アカマツ群落 | 水田雑草群落 |
| ヨシクラス | 放棄水田雑草群落 |
| スギ・ヒノキ・サワラ植林 | 市街地 |
| アカマツ植林 | 緑の多い住宅地 |
| その他植林 | 工場地帯 |
| モウソウチク林 | 開放水域 |
| マダケ・ハチク林 | |
| ゴルフ場・芝地 | |



S = 1:50,000



図3.2.5-1 現存植生図

出典：「自然環境調査Web-GIS - 生物多様性センター」（環境省 自然環境局）

3) 重要な植物相の状況

(1) 重要な植物相の種類及び生育地の状況

埼玉県内（大宮台地）における植物相について、表 3.2.5-10 に示す文献資料に基づき作成した。また、文献資料で確認された種を対象に表 3.2.5-11 に示す基準に該当する種を重要種として整理した。

表 3.2.5-10 文献資料一覧

記号	文献名
A	埼玉県レッドデータブック植物編 2024（第5版）（埼玉県、令和7年3月）
B	上尾市植物動物調査報告書（上尾市、平成3年3月）
C	伊奈町史資料調査報告書 第九集 伊奈の植物Ⅰ（伊奈町史編集室）
D	伊奈町史資料調査報告書 第十集 伊奈の植物Ⅱ（伊奈町史編集室）
E	伊奈町史 別編 伊奈の植物 補遺編（伊奈町教育委員会）

注：Aについては上尾市及び伊奈町が位置する「大宮台地」で生育が確認されたものを対象とした。

表 3.2.5-11(1/2) 重要種選定基準（法令による指定種）

No.	法令	選定根拠
①	「文化財保護法」 （昭和25年法律第214号）	・特別天然記念物（特天） ・国指定天然記念物（国天）
②	「埼玉県文化財保護条例」 （昭和30年埼玉県条例46号）	・県指定天然記念物（県天）
③	「上尾市文化財保護条例」 （平成18年3月29日） 「伊奈町文化財保護条例」 （昭和38年10月1日 条例第21号）	・市町指定天然記念物（市天）
④	「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律（種の保存法）」 （平成4年6月5日 法律第75号）	・国内希少野生動植物種（国内） ・国際希少野生動植物種（国際） ・特定第一種国内希少野生動植物種（第一） ・特定第二種国内希少野生動植物種（第二） ・緊急指定種（緊急）
⑤	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」 （平成12年3月24日 条例第十一号）	・希少野生動植物（指定）
⑥	環境省レッドリスト2020	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） ・絶滅危惧ⅠA類（CR） ・絶滅危惧ⅠB類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
⑦	「埼玉県レッドデータブック 2024 植物編」	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧ⅠA類（CR） ・絶滅危惧ⅠB類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）

(2) 植物

埼玉県内における重要な植物種は、表 3.2.5-12 に示すとおり、72 科 174 種が記録されている。

表 3.2.5-12(1/4) 重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献 記号	国内 外来 種 注2
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	ミズニラ科	ミズニラ						NT	NT	A, D	
2	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ							NT	A	
3		ヒロハハナヤスリ							VU	A	
4	マツバラ科	マツバラ							EN	A	○
5	デンジソウ科	デンジソウ							NT	A	
6	サンショウモ科	サンショウモ							NT	A	
7	スイレン科	コウホネ							NT	A	
8	ウマノスズクサ科	カンアオイ							NT	A	
9	サトイモ科	ウラシマソウ							NT	A	
10	オモダカ科	ヘラオモダカ							NT	A	
11		アギナシ						NT	EN	A, C	
12		ウリカワ							NT	A	
13	トチカガミ科	ヤナギスプタ							CR	A	
14		クロモ							NT	A	
15		トチカガミ							VU	A	○
16		サガミトリゲモ							NT	A	
17		ミズオオバコ							VU	VU	A, B, C
18		コウガイモ								NT	A
19	ヒルムシロ科	イトモ						NT	NT	A, B	
20		エビモ							NT	A	
21		ヒルムシロ							NT	A	
22		ホソバミズキヒモ							VU	A	
23	ヤマノイモ科	ニガカシュウ							NT	A	
24	ユリ科	アマナ							NT	A	
25		ヒロハノアマナ							EN	A	
26		カタクリ							NT	A	
27		コオニユリ							VU	A	
28	ラン科	エビネ							VU	A	
29		ギンラン							NT	A	
30		キンラン							VU	VU	A, C
31		ササバギンラン							NT	A	
32		クゲヌマラン							VU	A	
33		サイハイラン							NT	A	
34		シュンラン							NT	A	
35		マヤラン							VU	A	
36		サガミラン							CR	A	
37		クマガイソウ							CR	A	
38		コ克蘭							EN	A	
39		エゾスズラン							VU	A	
40		タシロラン							NT	A	
41		ミズチドリ							CR	A	
42		ノヤマトンボ							NT	A	
43	アヤメ科	ノハナショウブ							EN	A	
44	キジカクシ科	コヤブラン							VU	A	
45	ミズアオイ科	ミズアオイ						NT	VU	A, B	

注：1) 種名の配列等は、原則として「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第4版）」（埼玉県、平成24年3月）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-12(2/4) 重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献 記号	国内 外来 種 注2
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
46	ミクリ科	ミクリ							NT	A	
47		ヤマトミクリ							EN	A	
48	ホシクサ科	ヒロハイスノヒゲ							VU	A	
49		ホシクサ							VU	A	
50	カヤツリグサ科	トダスゲ							CR	A	
51		ジョウロウスゲ						VU	VU	A, B, C	
52		ヌマアゼスゲ							VU	A	
53		ウマスゲ							NT	A	
54		ヌカスゲ							CR	A	
55		ヒメゴウソ							CR	A	
56		オニナルコスゲ							EN	A	
57		シロガヤツリ							VU	A	
58		セイタカハリイ							NT	A	
59		コツブヌマハリイ							EN	A	
60		アゼテンツキ							EN	A	
61		ハタケテンツキ							EN	A	
62		タタラカンガレイ							VU	A	
63		イネ科	コマツカサスキ							EN	A
64	セトガヤ								NT	A	
65	ミズタカモジ								VU	A	
66	ウキガヤ								VU	A	
67	セイタカヨシ								VU	A	
68	マツモ科	マツモ							NT	A	○
69	ケシ科	ジロボウエンゴサク							NT	A	
70	ツツラフジ科	コウモリカズラ							EN	A	
71		ツツラフジ							VU	A	
72	メギ科	イカリソウ							NT	A	
73	キンポウゲ科	イチリンソウ							NT	A	
74		ヒキノカサ							CR	A	
75		ヒメウズ							NT	A	
76		ノカラムツ						VU	NT	A, B, C	
77	ベンケイソウ科	アズマツメクサ							CR	A	
78	ユキノシタ科	タコノアシ						NT	NT	A, B, C	
79	アリノトウグサ科	ホザキノフサモ							NT	A	
80		フサモ							VU	A	
81	マメ科	カラケツメイ							NT	A	
82		サイカチ							NT	A	
83		イヌハギ						VU	VU	A, B	
84		タンキリマメ							VU	A	
85		クララ							NT	A	
86	イラクサ科	トキホコリ						VU	NT	A, C	
87	バラ科	ナガボノシロワレモコウ							NT	A	
88		ナガボノアカワレモコウ							NT	A	
89	ブナ科	アカガシ							EN	A	
90	ウリ科	ゴキヅル							NT	A	
91	トウダイグサ科	ノウルシ						NT	NT	A, B, C	
92	ヤナギ科	コゴメヤナギ							NT	A	
93	スマイレ科	エゾアオイスミレ							CR	A	

注：1) 種名の配列等は、原則として「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第4版）」（埼玉県、平成24年3月）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-12(3/4) 重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献 記号	国内 外来 種 注2	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
94	オトギリソウ科	トモエソウ							VU	A		
95		アゼオトギリ							EN	A		
96	ミズハギ科	エゾミソハギ							EN	A		
97		ヒメキカシグサ						CR		B		
98		ミズマツバ						VU	NT	A, C		
99		ミズキカシグサ							NT	A		
100	ヒシ科	ヒシ							NT	A		
101		オニビシ							EN	A		
102	アカバナ科	ミズキンバイ							CR	A		
103	ジンチョウゲ科	オニシバリ							VU	A		
104	アブラナ科	コカイタネツケバナ							VU	A		
105	ヤドリギ科	マツグミ							EN	A		
106	タデ科	ヒメタデ							VU	A		
107		ヤナギヌカボ						VU	VU	A, E		
108		ナガバノウナギツカミ							NT		C	
109		シロバナサクラタデ								NT	A	
110		ヌカボタデ							VU		B, C	
111		コギシギシ							VU	NT	A, C	
112		ノダイオウ							VU	EN	A, B	
113		コガネギシギシ								VU	A	●
114		ニセコガネギシギシ								VU	A	
115		ツリフネソウ科	ワタラセツリフネソウ							VU	A	
116	サクラソウ科	ノジトラノオ						VU	EN	A, E		
117		ヌマトラノオ								NT	A	
118		サワトラノオ						指定	EN	CR	A, B	
119		サクラソウ						指定	NT	VU	A, B	
120	ツツジ科	ウメガサソウ							VU	A		
121		シヤクジョウソウ								NT	A	
122	アカネ科	ハナムグラ						VU	VU	A, C		
123		ホソバノヨツバムグラ								NT	A	
124	マチン科	ヒメナエ							EN	A		
125		アイナエ								NT	A	
126	キョウチクトウ科	チョウジソウ						NT	VU	A, C		
127	ガガイモ科	コカモメヅル							VU	A		
128	ゴマノハグサ科	サワトウガラシ								CR	A	
129		アブノメ								NT	A	
130		オオアブノメ							VU	EN	A, B, E	
131		シソクサ								EN	A	
132		コキクモ								NT	A	
133		イヌノフグリ							VU	EN	A, B, C	
134		カワヂシャ								NT	A	
135		キタミソウ								VU	A	
136		ゴマノハグサ							VU	CR	A, C	
137		オオヒナノウスツボ								VU	A	
138	シソ科	テンニンソウ								EN	A	
139		ハッカ								VU	A	
140		シラゲヒメジソ								VU	A	
141		ヒメナミキ								VU	A	

注：1) 種名の配列等は、原則として「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第4版）」（埼玉県、平成24年3月）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

表 3.2.5-12(4/4) 重要な植物種の状況

No.	科	種名	重要種選定基準							文献 記号	国内 外来 種 注2	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
142	ハマウツボ科	ナンバンギセル							VU	A		
143		クチナシグサ							VU	A		
144		イヌタヌキモ							VU	A		
145	タヌキモ科	タヌキモ						NT	CR	A, C		
146		クマツヅラ							VU	A		
147	キキョウ科	バアソブ							VU	EN	A, B	
148	ミツガシワ科	ガガブタ								EN	A	
149		アサザ								NT	A	
150	キク科	タウコギ								NT	A	
151		フジバカマ							NT	EN	A, B	
152		オグルマ								NT	A	
153		ホソバオグルマ								VU	EN	A, E
154		カセンソウ								EN	A	
155		ノニガナ								NT	A	
156		アキノハハコグサ								EN	CR	A, B, C, E
157		オナモミ								VU	DD	A, B, C
158	セリ科	エキサイゼリ								VU	A	
159		シムラニンジン								EN	A	
160		ヌマゼリ								VU	CR	A, C
161	スイカズラ科	ゴマギ								VU	A	
162	オミナエシ科	オミナエシ								CR	A	
163	ヒナノハイゴケ科	ヒメシワゴケ								VU	A	
164	ウキゴケ科	イチョウウキゴケ								NT	A	
165		ウキゴケ								DD	A	
166	シャジグモ科	シャジグモ								VU	A	
167	シロソウメンタケ科	ベニセンコウタケ								VU	A	
168	イグチ科	ヤシャイグチ								NT	A	
169		ブドウニガイグチ								VU	A	
170	イチョウタケ科	ニワタケ								NT	A	
171	スッポンタケ科	キヌガサタケ								NT	A	
172	アカカゴタケ科	カゴタケ								NT	A	
173	フクロシトネタケ科	クルミタケ								DD	A	
174	スチルベラ科	クモタケ								DD	A	
合計	72 科	174 種	0 種	0 種	0 種	0 種	2 種	34 種	171 種	—	—	

注：1) 種名の配列等は、原則として「埼玉県レッドデータブック植物編 2011（第4版）」（埼玉県、平成24年3月）に従った。

2) 国内移入種は●、国内移入種の可能性がある場合は○、条件により国内移入種となる場合は■とした。

(3) 巨樹・巨木林

「第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林」に該当する図 3.2.5-2 に示す。

対象事業実施区域周辺において、イチョウ等の 15 本の巨樹林・巨木林に該当する樹木が確認されている。

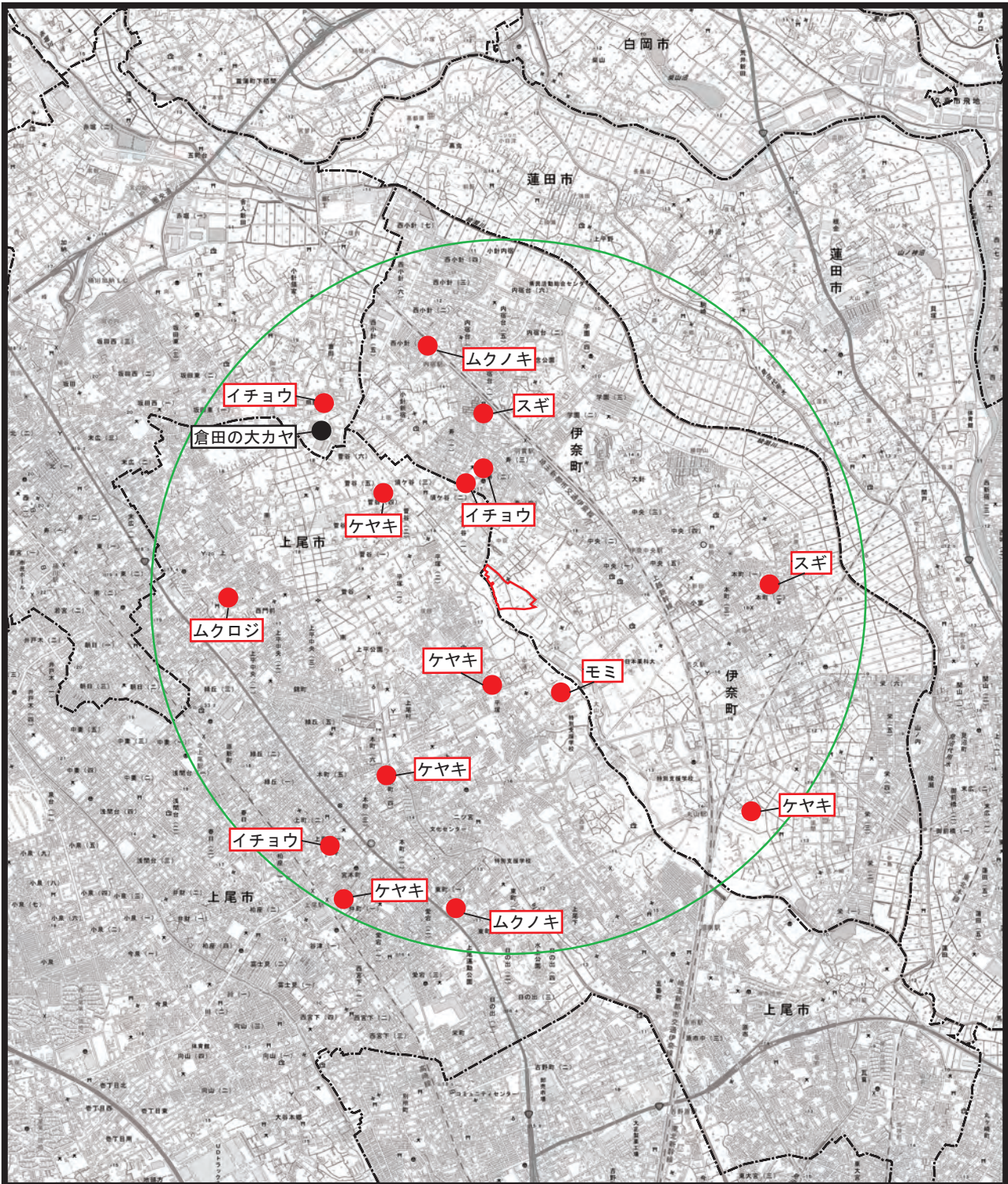
表 3.2.5-13 確認された巨樹・巨木の本数

科名	樹種名	調査範囲内
イチョウ	イチョウ	4
スギ	スギ	2
ニレ	ケヤキ	5
アサ	ムクノキ	2
マツ	モミ	1
ムクロジ	ムクロジ	1
合計		15

出典：「第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林」
(令和7年12月閲覧、自然環境調査 Web-GIS (環境省 HP))

(4) 天然記念物

対象事業実施区域周辺に県指定の天然記念物として、「倉田の大カヤ」が確認されている (図 3.2.5-2 参照)。



凡例

: 対象事業実施区域

: 市町界

: 環境に影響を及ぼす地域
(中心から半径3km)

: 巨樹・巨木林

: 天然記念物



S = 1:50,000



この地図は、国土地理院発行の電子地図2万5千分の1を使用したものである。

図3.2.5-2 巨樹・巨木林及び天然記念物の位置

出典：「第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林」
(令和7年12月閲覧、自然環境調査Web-GIS (環境省HP))